

## 実技試験に関する FAQ

Q:採点基準はどのように変わったのですか？

A:基本的に昨年までと変わりません。ただ、昨年までは作業レポートという用紙に修正箇所または入力箇所の小節および MIDI チャンネルが記載されていない場合、減点 1 点となっておりますが、今年度よりレポート記載による減点は無くなりました。代わりに、入力すべき小節内に何もノートイベントを入力しなかった場合に減点 1 点が加わります。

Q:課題曲は 4 曲ありますが 4 曲全部が出題されるのでしょうか？

A:90 分の試験時間で一名の受験者に与えられる課題曲は 1 曲です。1 曲の中で 20 小節分の空白箇所がある MIDI ファイルが与えられるので、譜面を参考に空白小節に MIDI データを入力し、SMF と使用したシーケンサー独自のファイル形式で提出していただきます。

Q:課題曲は選択できるのでしょうか？

A:いいえ。試験当日試験会場でランダムに与えられます。従いまして、全ての楽曲の入力ができるように準備しておくことをお勧めいたします。

Q:セットアップ小節も入力対象でしょうか？

A:セットアップおよび入力箇所以外のデータが入力された SMF が配られますので、セットアップを編集する必要はありません。ただし、入力時に上書きしてセットアップや既存のデータを消してしまうと、レギュレーション違反の減点となりますので注意してください。

Q:mf のベロシティが 80 を目安にと 3 級ガイドブックに記載されておりますが、81 入力すると減点でしょうか？

A:採点時には便宜上 mf を 72~87 の範囲で採点いたします。同様に ppp が 8~23、pp が 24~39、p が 40~55、mp が 56~71、f が 88~103、ff が 104~119、fff が 120~127 といたします。この数値はあくまで実技試験採点上の便宜的な取り決めです。また、エクスプレッションを併用する場合や、装飾音符、ドラムトラックのデータについてはこの限りではありません。

Q:ドラムトラックの強弱記号はどのように判断すればよいのでしょうか？

A:mf だからといって全てのインストゥルメントをベロシティ 80 で入力するということではありません。スコアにベロシティが記載されておりますので、その値にしたがって入力してください。

Q:ピッチベンドやモジュレーションホイールはどのタイミングで入力すればよいのでしょうか？

A:聴感上参考 MP3 のニュアンスを逸脱していなければ、入力タイミングや個数は任意で構いません。ただ、開始位置とリセットさせる為の 0 の値等は必ず入力すべき小節内に入力してください。(モジュレーションホイールの 0 の値が次の小節の頭にはみ出ないようにするという意味です。)